

令和5年度

## 修了式 式辞



今日で3学期、そして、令和5年度が終わります。1年生200日、2年生は199日、学びました。大きなけがや事故がなく、皆さん、元気にそれぞれ修了、つまり、学ぶ内容を学び終えることができたということ、嬉しく思います。

今年の重点目標は「自ら気づき、考え、行動する」でした。生徒の皆さんがなりたい自分に向けて、仲間と共に、磨き、鍛えることを大きく期待し、いろいろな仕掛けを先生方にさせていただきました。あなたは、どんなことに気づき、考え、行動することができましたか。

善き行い、というのは、勇気を必要とする場合があります。私が見つけた善き行いを紹介します。1年生の「自ら気づき、考え、行動する」。ある日、授業が始まったのに、黒板が消してありませんでした。どうするのかなと、しばらく見ていたら、突然一人が立ち上がり、さっと黒板をきれいにしてくれました。後で聞いたら、消すはずの当番は別の人であったとのこと。自分は何をしたらよいか考えて、実行した姿でした。私が後ろでじっと立っていた間、彼女は考えていたのです。また、こんな例もあります。文化部に在籍していた生徒ですが、自分の青春の貴重な時間、今も楽しいけれど、このままでいいのか、悩んで、勇気を出して相談し、ある運動部に入部したのです。1年生の後半からチェンジする、というのは、勇気がいることです。しかし、自分をもっと磨こうと考えたこと、そして、今まで通りの部で活動できるけれど、自分のために難しい方を選択し実行していること、素晴らしいと思います。

2年生では、地震の被災者 飯田小学校のちびっこに向けたあいちゃんプロジェクトの時の動きを思い出します。希望者が少なかった初めの頃。

考えて、やっぱりやった方がいいかな、と思って最初の活動の時にランチルーム前まできた生徒がいます。すでにスタートしていて、悩みながら、入れなかった。いろいろ思うところがあったのでしょうか。2回目は、たくさんの方が来てくれました。実行してみてどう思ったか。アンケートからは、ほとんどの人が、やってよかった、次の機会も参加したいと考えていました。

今、紹介した人の共通点、どんなところですか。まず、気が付いたところ。自分にとって、クラスにとって、集団にとって、ある不都合だったり、改善すべきところに気が付いたこと。次に、そのままにしておくこともできたけれど、放っておかずに、自分ができることは何か考えたこと。そして、よりよいことを選択し、実行したこと。この三つです。

実行するまでに、悩みながらも、よりよいものを目指して行動したことに、そのプロセスに大きな価値があると私は思います。気付いて悩んだとき、すでに心は成長し始めています。そして、実行したあとには、やってよかったという思い、自分っていいところがあるな、と感じられる時間があるはずです。

皆さんは学校で学習し、活動しながら、成長していきます。自分で考えたり、周りの人と協力したりしながら成長するのです。

自分で気付いたことについて、考え、実行しようとするときに、人とはひと味違う、自分だけの成長があります。この「気づき、考え、行動する」。紹介したこと以外にも、皆さんの中にできていることがあるはずです。ぜひ、実践を続けください。

明日から10日間の春休み。希望、志、夢は人生をつくり出す原動力です。新しい学年で、どんなことに情熱を燃やしたいか、「なりたい自分」や「めあて」をもって始業式にきてください。元気に登校する姿を楽しみにしています。



